

# 継足しキー

平成 2 1 年 8 月 1 2 日仕様制定

## 1 . 適用範囲

この仕様は、水道用バルブのキャップ（以下、キャップ）に取付ける継足しキーについて規定する。

## 2 . 引用規格

次に掲げる規格は、この仕様に引用されることによって、この仕様の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- J I S B 0 2 0 5 - 4（一般用メートルねじ - 第 4 部：基準寸法）
- J I S B 0 2 0 9（一般用メートルねじ - 公差 - ）
- J I S B 0 4 0 3（鋳造品 - 寸法公差方式及び削り代方式）
- J I S B 0 4 0 5（普通公差 - 第 1 部：個々に公差の指定がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差）
- J I S B 7 5 0 2（マイクロメータ）
- J I S B 7 5 0 3（ダイヤルゲージ）
- J I S B 7 5 0 7（ノギス）
- J I S B 7 5 1 2（鋼製巻尺）
- J I S G 4 3 0 3（ステンレス鋼棒）
- J I S G 5 5 0 2（球状黒鉛鋳鉄品）
- J I S Z 2 2 0 1（金属材料引張試験片）
- J I S Z 2 2 4 1（金属材料引張試験方法）
- J I S Z 2 2 4 3（ブリネル硬さ試験 - 試験方法）
- J I S Z 8 4 0 1（数値の丸め方）
- J W W A Z 1 0 3（水道用バルブのキャップ）

## 3 . 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

### 3 . 1 表示板

継足しキーの天端に設置し、種類の判別を行うもの。

### 3 . 2 押ボルト

継足しキーとキャップとを固定するもの。

### 3 . 3 形式試験

継足しキーがその設計によって、決定された形式どおりに作られているかどうかを確認するための試験。なお、形式とは性能、構造、形状及び寸法。

## 4. 種類

継足しキーの種類は、表1による。

表1 継足しキーの種類

| 継足しキーの種類<br>(長さ)<br>(単位: mm) | 継足しキーの色<br>(先端部) | 略号 |
|------------------------------|------------------|----|
| 300                          | 白                | 3  |
| 500                          | 黄                | 5  |
| 700                          | 赤                | 7  |
| 1000                         | 緑                | 10 |

## 5. 性能

継足しキーの操作性は、JWWAZ 103 水道用バルブのキャップに規定する形状のものに取付けることが容易に行われ、バルブの開閉操作に支障があってはならない。

## 6. 構造、形状及び寸法

### 6.1 構造及び形状

#### a) キャップとの固定方法

継足しキーとキャップとは、押ボルトで固定が可能な構造とする。ボルトについては、材質がJIS 4303のステンレス鋼棒に規定するSUS304、寸法がM10×16とする。

#### b) 表示板

継足しキーの天端には、種類を識別できるように、表1に示す色の表示板を設置する。表示板は、夜間等での作業性を考慮するため、光を反射するものとし、その反射色の識別が、表1のとおりにより可能なものでなければならない。

また、雨水やバルブを開閉する器具の取付け、バルブの開閉操作等により、容易に外れることがないようにしなければならない。

#### c) その他

継足しキーの構造及び形状は、水道施設の不具合など、他に重大な損害を生じさせないものでなければならない。

### 6.2 寸法

継足しキーの主要寸法は、付図1による。

## 7. 外観

### 7.1 継足しキーの外観

継足しキーの内外面は、なめらかで、こぶ、きず、錆びり、巣などの有害な欠点があってはならない。

## 7.2 塗装後の外観

塗装後の外観は、塗り残し、あわ、ふくれ、はがれ、異物の付着、塗りだまり、著しい粘着などの使用上有害な欠点があってはならない。

## 8. 塗料

継足しキーの塗料は、密着性、防食性及び耐候性に優れたものを用いる。

## 9. 材料

継足しキーの材料は表2のとおりとし、通常の使用及び施工に十分耐えられるだけの強度及び耐久性をもたなければならない。なお、材料は、JIS G 5502の球状黒鉛鋳鉄品と同等以上のものとし、10.3.1～10.3.3によって試験を行ったとき、表2の規定に適合しなければならない。

表2 材料

| 材質<br>(記号)                     | 引張強さ<br>N/mm <sup>2</sup> | 伸び<br>% | 硬さ<br>HBW       | 黒鉛球状化率<br>% |
|--------------------------------|---------------------------|---------|-----------------|-------------|
| FCD450                         | 450 以上                    | 10 以上   | 140<br>～<br>210 | 80 以上       |
| 注記 1 N/mm <sup>2</sup> = 1 MPa |                           |         |                 |             |

## 10. 試験方法

### 10.1 外観及び形状

継足しキーの外観及び形状は、目視によって調べる。

### 10.2 寸法

継足しキーの寸法はJIS B 7502のマイクロメータ、JIS B 7507のノギス、JIS B 7512の鋼製巻尺、又はこれらと同等以上の精度をもつ計測器によって測定する。

### 10.3 材料試験

材料試験は、JIS G 5502の12.(試験)の方法によって供試材を予備を含め3個鋳造し、そのうち1個の供試材を用いて次による。

#### 10.3.1 引張試験

引張試験は、供試材からJIS Z 2201によって作製した4号試験片を用いて、JIS Z 2241によって引張強さと伸びを測定する。

#### 10.3.2 硬さ試験

硬さ試験は、供試材から作製した試験片を用いて、JIS Z 2243によって硬さを測定する。

#### 10.3.3 黒鉛球状化率判定試験

黒鉛球状化率判定試験は、10.3.2の試験を行った試験片をよく研磨し、JIS G 5502の12.6(黒鉛球状化率判定試験)によって行う。

#### 10.4 操作性試験

継足しキーの操作性試験は、JWWA B 120又はB 122で規定される制水弁を用意し、継足しキーをスピンドルキャップに取付け後、バルブの開閉操作を行い支障等の有無について確認を行う。

#### 10.5 試験結果の数値の表し方

試験結果の数値の表し方は、JIS Z 8401によって丸める。

### 11. 形式試験

形式試験は、継足しキーの種類ごとに製造業者の製作図、製作仕様書及び箇条6～箇条9、並びに箇条13の規定に適合していることを確認した上で、10.1～10.4の試験を行い、箇条5の規定に適合しなければならない。

### 12. 検査

継足しキーの検査は、次の項目について行い、箇条5～箇条7、箇条9及び箇条13の規定に適合しなければならない。

- a) 操作性
- b) 構造及び形状
- c) 寸法
- d) 外観
- e) 材料
- f) 表示

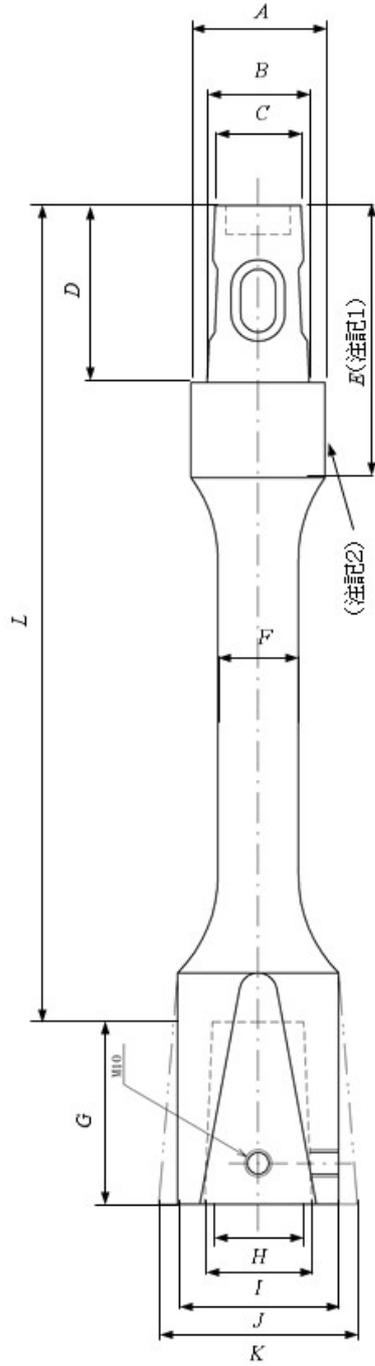
なお、製造業者は、試験結果を記録、保存し、本市及び本市の受注者の要求がある場合は、計量事業証明所として登録されている試験機関が、製造日より1年以内に行った試験成績証明書等、及び製造業者の品質証明書等を提出しなければならない。

### 13. 表示

継足しキーの外面には、次の項目を鋳出し、又は容易に消えない方法で表示しなければならない。

- a) 種類（長さ）の略号
- b) 製造業者名又はその略号
- c) 製造年

継足しキーの主要寸法



| 種類   | A  |      | B  |      | C  |      | D  |      | E   |      | F  |      | G  |      | H  |      | I  |      | J  |      | K  |      | L  |     |
|------|----|------|----|------|----|------|----|------|-----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|-----|
|      | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法  | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差  | 寸法 | 許容差 |
| 各種共通 | 50 | ±2.0 | 88 | ±1.8 | 82 | ±1.8 | 65 | ±2.2 | 100 | ±2.2 | 30 | ±1.8 | 67 | ±2.2 | 84 | ±1.8 | 40 | ±2.0 | 80 | ±2.2 | 74 | ±2.2 | *  | ±5  |

L寸法

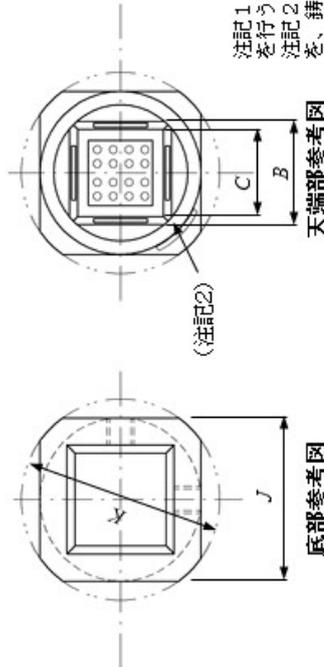
| 種類   | L寸法  | 許容差 |
|------|------|-----|
| 800  | 300  | ±5  |
| 500  | 500  | ±5  |
| 700  | 700  | ±5  |
| 1000 | 1000 | ±5  |

押ボルト参考図

寸法: M10×16  
数量: 2  
材質: SUS304



注記1: 継足しキーの先端部については、表1に示す色で、塗装を行うこと。  
注記2: 当該箇所には表1に示す種類(長さ)の略号及び製造年を、萌出し、又は容易に消えない方法で表示しなければならぬ。  
注記3: \*印寸法は、別表L寸法のとおりとす。



天端部参考図

底部参考図

|        |            |
|--------|------------|
| 大阪市水道局 |            |
| 図      | 継足しキー 付図1  |
| 面      | 継足しキーの主要寸法 |